

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス垂水教室			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日 ～ 2025年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 9月 10日 ～ 2025年 9月 11日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・それぞれのお子さまにとって、より適切な支援になるよう、常に見直し改善する意識を全職員が持っています。	・毎回の療育準備中や療育後に、効果的だった対応を伝え合い、困り感が強く出る場面での対応を話し合うミーティングを実施してそれぞれのお子さまに最適対応を相談しています。その際、ご家族からお聞きした通園先やご家庭での状況も考慮し、対応を検討しています。	・情報共有の時間を大切に継続することと、支援についての新しい知識を学び続ける努力をいたします。また、園生活での様子を実際に拝見して、集団生活での困り感を和らげる対応を支援に活かせるよう、関係機関連携を充実させてまいります。
2	・保護者様の子育てのサポーターとして信頼していただけるよう努力を続けています。	・毎回保護者様に支援場面を見ていただき、療育中や療育後のフィードバックで日頃のお子さまの様子や気になる姿について直接お話を伺い、お子さまの細やかな変化や成長と一緒に喜んだり、発達へのお悩みについて支援方法を相談する時間を大切にしています。	・ペアレントトレーニングに参加しやすい環境を整えたり、保護者様同士の交流を目的とした保護者会の実施を検討するなどして、ご家族支援の充実を目指してまいります。
3	・職員間で情報共有や連携がしやすい環境が整っており、お子さまの療育内容についてすぐに情報交換できています。	・毎日決まった時間に、全職員で療育内容について情報共有するミーティングを実施しています。また、必要に応じて、ミーティングの時間以外にも療育について話し合いを行っています。	・日々変化・成長していくお子さまの姿に合わせ、課題内容や支援方法を検討する時間を充実させられるよう、職員全員で研鑽を積む努力をいたします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の保育所や認定こども園、幼稚園との交流や関りがまだ少なく、地域で他のお子さまと活動する機会が作れていません。	・これまで関係機関連携について、保護者様からのご要望が少なかったことと、教室を地域のお子さまに対して解放していなかったことが要因だと考えています。	・関係機関連携をすることで、通園先の先生方と情報共有しながらお子さまへの支援をさらに充実させることができることを保護者様に丁寧にお伝えするよう努めます。また、教室開放を継続的に実施したり、地域の行事に参加するなどして、地域のお子さまと活動する機会を作ってまいります。
2	・教室が2階にあり、エレベーターがありません。	・開所場所を選ぶ際に、バギーやお子さまを抱いてこられる保護者様がおられ、階段が通所の妨げになることを考慮していなかったことが要因です。	・階段の昇り降りの際には、保護者様のご要望に応じて職員がバギーや荷物をお運びいたします。また、保護者様からご連絡をいただきましたら、階段の下までお迎えに参ります。
3	・ブレイルームの様子が個室に伝わり、光や音が気になるお子さまがおられます。	・個室とブレイルームが隣接しており、マジックミラー越しに光が入り、保護者様の姿が見えたり、ブレイルームの音が聞こえたりすることが要因です。	・粗大運動を行う位置を検討し、個室への影響を抑えるよう配慮します。光が気になり、療育に集中できないお子さまには、光が入らないよう遮光素材を使用します。その際には保護者様には同室していただきます。